

MYOFUNCTIONAL SLEEP APPLIANCE

myosa®

日中1時間  
と夜間就寝  
時の使用

S1



**TMJBDS®**  
FOR TMJ, BREATHING  
& DISORDERED SLEEP

ステージ1  
口呼吸者用

[www.myosa.com](http://www.myosa.com)

国際特許

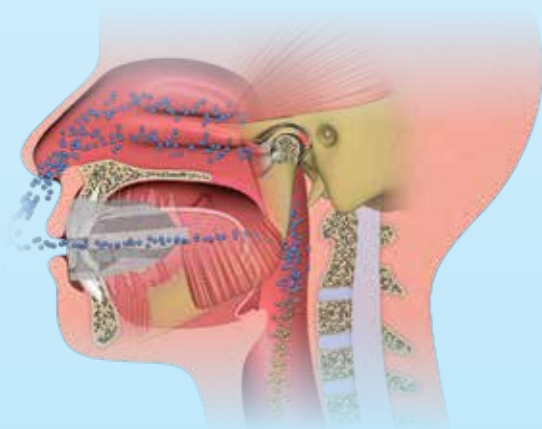
詳細はMYORESEARCH.COMをご覧ください。

# 口腔内装置による治療

Myosa<sup>®</sup> for TMJBDS<sup>®</sup>プログラムには、睡眠関連呼吸障害 (SRBD) および顎関節症 (TMJ/D) の存在を特定するための具体的な評価、診断、および治療ステージがあります。これらの障害は相互に関連しており、TMJBDSという症候群として一つにまとめられています。歯牙(**T**eeth)、筋肉(**M**uscles)、顎(**J**aws)、呼吸(**B**reathing)、睡眠障害(**D**isordered **S**leep)に関連する症状です。

迅速な症状緩和とともに、Myosa<sup>®</sup>プログラムは問題の根本原因に対処するために特別に設計された治療です。

Myosa<sup>®</sup>プログラムは、症状が完全に解消されることを目指しますが、結果には個人差があります。



注意：口腔内装置は、歯牙の位置や顎関係を変える可能性があります。硬い下顎前方誘導装置 (MAD) とは異なり Myosa<sup>®</sup> 装置は柔軟性があるため、顎関節の痛みや咬合への影響を最小限に抑えます。

## 問題を理解する

睡眠と顎関節障害は、世界中の多くの人々に影響を及ぼしています。症状の範囲が広く、原因と適切な治療法の特定が困難な場合があるため、苦しんでいる多くの患者は、診断されずにいるか誤って治療されています。頭痛、頸部痛、夜間のいびき、日中の倦怠感などの症状は一見無関係に見えるかもしれませんが、それらはすべて単一の健康問題の一部である可能性があります。顎関節障害(TMD)の原因の2つは、口呼吸と誤った嚥下習慣であるため多くの場合、それらの症状は同時に発生します。

### 正常な鼻呼吸vs口呼吸

口呼吸は異常であり、睡眠呼吸障害(SDB)の原因の1つです。子どもは口で呼吸していると顎は正しく前方に発達することができません。SDBを患っている成人はたいてい顎が劣成長で、それは舌と下顎が気道を制限する原因となります。したがって、下顎と舌を前方に保ち、気道を確保するためには、常に正しく鼻で呼吸する方法を学ぶことが重要です。



口呼吸  
低位舌



鼻呼吸  
拳上された舌

# Myosa<sup>®</sup> S1 – ステージ1

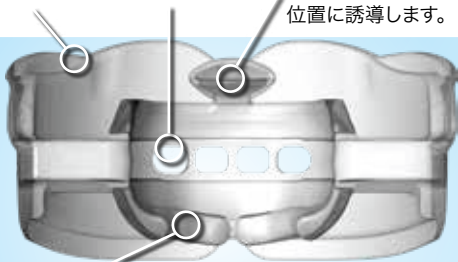
Myosa<sup>®</sup> for TMJBDS<sup>®</sup> S1は就寝中に口呼吸をしている患者向けに設計されています。装置はTMJBDSの診断や治療に役立ちます。就寝中に下顎を前進させ咬合を開くことで気道を開く効果があります。また、Myosa<sup>®</sup> S1の4つの大きな呼吸孔が口呼吸を調整します。夜間のより良い保持力のために、成形可能タイプのS1装置(S1M)を使用することができます。二重成形構造でよりタイトにしっかり適合します。

## Myosa<sup>®</sup> for TMJBDS<sup>®</sup> S1 – 設計の特徴

高い側面が成形しなくても優れた保持力を発揮します。

大きな呼吸孔は口呼吸を調整し軽減します。

タンタグは舌の簡単なエクササイズを可能としながら舌を上前方の正しい位置に誘導します。



タンエレベーターが舌を正しい位置に保持します。

分厚いベースは垂直方向の開口を可能にし、顎関節や気道の症状を改善します。

最適な顎の位置が顎関節を最適な位置に導き気道を開きます。



Myosa<sup>®</sup> S1  
断面図

**S1** ステージ1  
口呼吸者用

## 使用の適応症

Myosa<sup>®</sup>装置を使用する前に睡眠障害が疑われる場合、治療担当医はその評価のために患者を専門医に紹介することがあります。Myosa<sup>®</sup>口腔内装置は、TMJBDSの症状を持つ患者に快適さが得られるまで日中に使用されます。慣れたら日中1時間と夜間就寝時に使用します。

## 使用方法



**ステップ1** - タンタグが上にある状態でMyosa<sup>®</sup>装置を持ちます。



**ステップ2** - Myosa<sup>®</sup>装置を口腔内に入れてください。



**ステップ3** - 舌をタンタグに当てるか、押してエクササイズします。



**ステップ4** - Myosa<sup>®</sup>装置を噛んで顎を前方に誘導させます。



**ステップ5** - 意識して口唇を閉じ鼻から呼吸をします。

**Myosa<sup>®</sup>装置を強く噛み込まないでください。**

初めにS1を日中に使用して習癖を是正します。S1M装置を夜間に使用することで、保持力を高めることができます。

# 設計特徴

- 高い側面が成形しなくても優れた保持力を発揮します。
- 4つの大きな呼吸孔は口呼吸を調整し鼻呼吸を促します。
- タンタグは舌の簡単なエクササイズを可能としながら舌を上前方の正しい位置に誘導します。
- タンエレベーターは舌を正しい位置に保ち気道の機能を改善します。
- ソフトでフレキシブルなシリコン素材が快適性を高めどのようなアーチフォームにも適応します。
- 大きなベースは、顎関節を除圧し気道を開き、またクリックキングを軽減しながら顎関節に快適さを提供します。

3~4ヶ月で症状が改善した後Myosa<sup>®</sup> S1からMyosa<sup>®</sup> S2またはS2Mに移行することができます。

**Myosa<sup>®</sup>の洗浄:**口から外したらすぐにぬるま湯で洗い流してください。週に2回洗浄剤をご使用ください。推奨の洗浄剤については、かかりつけ歯科医にお尋ねください。

**重要: 状態を正しく評価するためには医療従事者への相談が不可欠です。**

耐用期間: 毎日使用した場合6ヶ月間。使用頻度にかかわらず12ヶ月後に交換してください。



**Myosa<sup>®</sup> by Myofunctional Research Co.**  
**Myofunctional Research Co. Australia**  
44 Siganto Drive, Helensvale QLD 4212 Australia  
Tel: +61 7 5573 5999

#### USA Representative:

Myofunctional Research Co. USA  
9267 Charles Smith Avenue, Rancho Cucamonga CA 91730 USA  
PO Box 2781, Rancho Cucamonga CA 91730 USA  
Tel: +1 866 550 4696



#### European Representative:

Myofunctional Research Europe B.V.  
Gompenstraat 21c 5145 RM Waalwijk The Netherlands  
P.O. Box 718, 5140 AS Waalwijk The Netherlands  
Tel: +31 416 651 696



**MYOFUNCTIONAL RESEARCH CO.**  
INNOVATIVE DENTAL APPLIANCE  
TECHNOLOGY AND EDUCATION



直射日光を避けてください。

患者1人用。



非滅菌  
使用する前に洗浄してください。